

ドラムの基礎知識

ドラムセットを構成する楽器

ドラムセットは複数の太鼓やシンバルがセットになった楽器です。

一般的に、以下のような楽器で構成されます。

- キック(バスドラム)
- スネアドラム
- タムタム
- ハイハットシンバル
- ライドシンバル
- クラッシュシンバル

ドラムセットを構成する楽器



キック(バスドラム)

キック(バスドラム)とは、その名の通り足を使って演奏する太鼓です。

最も低い音が出ることから「バスドラム」とも呼ばれます。

スネアドラムと共に、リズムの中核を成す重要なパートです。

スネアドラム

ドラムセットの主役ともいえる存在。
略して「スネア」とも呼ばれます。

ボディ底面にスナッピーと呼ばれるバネが張られているため、
シャリシャリとした倍音豊かなサウンドが得られます。

また、リム(太鼓の縁の部分)を叩くことで、
「カッカッ」という歯切れの良い音を出すこともできます。
これを「サイドスティック」と呼びます。

さらに、ヘッド(皮)とリムを同時に叩く、「リムショット」と
呼ばれるテクニックもあり「カンカン」としたパワフルなサウンドが特徴です。

タムタム

ドラムセット中央に配置される太鼓です。
別名「トムトム」、略して「タム」と呼ばれたりします。

大きさによって様々な音程を奏でることができ、
音程の高いものから「ハイタム」「ミッドタム」「ロータム」という名前がついています。

また、床に直置きして設置する「フロアタム」というものもあり、
タム群の中で最も低い音程を奏でます。

ハイハットシンバル

上下2枚のシンバルを組み合わせた特殊なシンバルです。
単に「ハイハット」、さらに略して「ハット」などと呼ぶ場合も多いです。

足元にあるペダルを踏むことで2枚のシンバルがピタッと組み合わせり、「チッチッ」という歯切れの良いサウンドを奏でることができるほか、ペダルを踏む力を緩めることで、「シャーン」というテールの長いサウンドも演奏可能です。

前者を「クローズドハイハット」、後者を「オープンハイハット」といいます。
加えて、足だけを使ってペダルを踏み込み、2枚のシンバルが閉じる際に生じる音を利用することもできます。
これを「フットハイハット」といいます。

ライドシンバル

ドラムセットを正面から見て左側に配置される大型のシンバルです。略して「ライド」と呼ばれることもあります。

ハイハットの代わりに細かいビートを刻むことが主な役割で、「チンチン」とした粒立ちの良いサウンドが特徴。

また、中央部の「カップ」と呼ばれるドーム状の部分を叩くことで、「カンカン」とした明るいサウンドを演奏することもできます。

クラッシュシンバル

「ジャーン」という派手なサウンドが特徴のシンバルです。
単に「クラッシュ」と呼ばれることもあります。

ドラムセットによっては複数枚配置されることもあり、
楽曲の要所要所でアクセントをつけたい場合に用います。

ドラムの記譜

① 太鼓系の記譜

■ キック&スネア

■ タムタム

Musical notation for drum notation. The first staff shows four notes: Kick (quarter note), Snare (quarter note), Sidestick (quarter note with an 'x' above the stem), and Ghost Note (quarter note with a circled note head). The second staff shows four notes: Hi Tom (quarter note), Lo Tom (quarter note), Floor Tom1 (quarter note), and Floor Tom2 (quarter note).

Kick Snare Sidestick Ghost Note Hi Tom Lo Tom Floor Tom1 Floor Tom2

② シンバル系の記譜

■ ハイハット

■ その他シンバル

Musical notation for cymbal notation. The first staff shows three notes: Close (quarter note with an 'x' above the stem), Open (quarter note with an 'o' above the stem), and Close (quarter note with a '+' above the stem). The second staff shows three notes: Foot (quarter note with an 'x' above the stem), Crash (quarter note with a '>' above the stem), Ride (quarter note with an 'x' above the stem), and Ride Cup (quarter note with a '.' above the stem).

Close Open Close
(Open後の指示) Foot Crash Ride Ride Cup

太鼓系の記譜

通常、キックは第1間に、スネアは第3間に記譜します。
タムタムは音程に応じて第4間～第2間までにまたがって記譜されます。

特殊な表記として、スネアドラムは符頭を「×」印に変えることで、
サイドスティックの指示を出すことができるほか、
符頭に「()」をつけることで、ゴーストノートの指定をすることも可能です。

ゴーストノートとは、リズムにノリを出すために、
聞こえるか聞こえないか程度の小さな音量で演奏される音。
通常は記譜されることは稀だが、
あえてゴーストノートを指定したい場合は()付きで記譜します。

シンバル系の記譜

シンバル群は、全て「×」印の符頭で記譜されます。

ハイハットは上第1間、ライドは上第2間、
クラッシュは上第1線に記譜します。

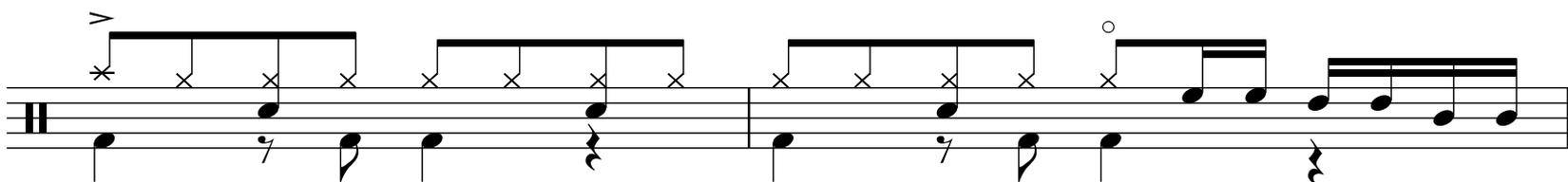
ハイハットのオープンクローズは
音符上部に「○」「+」をつけることで書き表すことができるほか、
フットハイハットは下第1間に記譜します。

ライドシンバルは「・(スタッカート記号)」を付け加えることで
カップでの演奏を指定できます。

ドラム譜の例

このように、1段の五線だけでドラムセット全体を書き表すことができます。

① オーソドックスな8ビート



② スイング系4ビート

